

IoT 活用モバイルクラウド基盤「Platio (プラティオ)」販売開始
急速な市場拡大が見込まれる M2P (機械と人が繋がる) 型 IoT 市場に本格参入！

インフォテリア株式会社 (本社：東京都品川区、代表取締役社長：平野洋一郎、証券コード：3853、以下、インフォテリア) は、IoT ソフトウェア基盤事業の第1弾として、IoT 活用モバイルクラウド基盤「Platio (プラティオ)」を2017年2月6日から販売開始することを発表します。また、発売に合わせて、Platio 上のモバイルアプリの作成を支援する「導入支援コンサルティングサービス」も開始します。

■ Platio 発売の背景

様々な業務の現場で測定されるデータは、現場で目視し手書きで記録する作業によって管理され、転記・入力負担や情報の正確性を確保する点が課題を抱えています。また、こうした作業が伴う現場業務では、多くの場合システム構築を伴う大規模な IT 投資ができないケースが多く、システムを導入したとしても業務手順が一定の頻度で変更されることなどにより、追加での改修コストが必要になることが少なくありません。

■ 人と IoT 機器、そしてクラウドを繋ぐ Platio

新製品 Platio は IoT 機器を活用したモバイルアプリ開発と、サーバー側プログラムの開発、アプリの配布、システム全体の運用をプログラミングの知識がなくても簡単に行える IoT 活用モバイルクラウド開発基盤です。利用者はカスタマイズ可能なテンプレートを利用してモバイルアプリを簡単に作ることが可能で、そのデータベースはモバイルアプリのデータ構造から自動的にクラウド上に準備され、モバイルアプリの配布が可能となります。さらに、導入後の機能追加やモバイルアプリ改修も手軽に実施可能です。

Platio では、様々な IoT 機器 (計測器、センサー) の測定データをモバイルアプリでワンタッチで記録し、人と IoT 機器を繋ぎます。これによって、モバイル環境での M2P (Machine to Person : 機械と人が繋がる) 型の多様な IoT ソリューションを実現します。

Platio が実現するサイクル	モバイルアプリ制作の画面イメージ
	

■ Platio の概要・特長

- ① **プログラミング知識不要で、現場業務用のモバイルアプリを準備可能**
 プログラミングの知識は一切不要で、ウェブブラウザのマウス操作だけでモバイルアプリを作ることができます。IoT 機器からのデータだけでなく、手入力やモバイル端末からの写真や GPS による位置情報の入力も可能です。
- ② **Bluetooth LE*対応の測定機やセンサーからの自動入力が可能**
 作成したモバイルアプリは、Platio が対応済みの Bluetooth 接続の IoT 機器には、特別な準備をすることなくワンタッチで接続し自動入力することができ、測定データの収集や管理を大きく効率化できます。
 ※極低電力でも通信することができる近距離無線通信技術 Bluetooth の拡張仕様の一つ
- ③ **クラウドデータベースを自動生成し保管・共有が可能**
 作成したモバイルアプリにマッチしたデータベースと処理プログラムがクラウド上に自動生成され、クラウド上でセキュアに情報を保管・共有し、ユーザー管理もしっかりできる本格的なモバイルアプリを作ることができます。

<利用料金プラン>

料金プランの種類	Lite	Standard
利用料金（月額）	90,000 円	200,000 円
利用できるアプリケーションの数	2 個	5 個 ^{※1}
クラウド上に保存できるデータ容量	2 GB	50 GB ^{※1}
API 接続	—	対応予定 ^{※2}
ユーザー数による課金（月額） ^{※3}	300 円/名	
導入時に必要な費用（初期費用）	50,000 円	

※1：「Standard」の場合、利用できるアプリケーションの数やクラウド上の保存できるデータ容量は、増量が可能ですので、お問い合わせ下さい。

※2：API 接続機能の提供は 4 月を予定。

※3：10 名単位でご購入いただけます。

■ Platio 導入支援コンサルティングサービスの開始

あらゆる業界における現場業務での IoT 機器の活用を手軽にかつ低コストで実現することを目的に、インフォテリアでは Platio でのアプリケーション作成を支援する以下のコンサルティングサービスを開始します。

内 容	要件ヒアリングと実装方法の策定支援 (2 回程度のオンサイト打合せを想定)
	サンプルミニアプリの提供 (3 つまで)
	ミニアプリ作成支援サポート ※電話でのお問い合わせ対応 (平日 10:00-17:00)
サービス料金	30 万円 (消費税別) ~ ※複雑な仕様になる場合は個別案件として、別途お見積り書を提出させていただく場合もございます。
サービス期間	1 ヶ月間 (30 日間)

■ 今後の展開

インフォテリアでは、サービスの正式提供の前に 2016 年 10 月 27 日から Platio の評価版を提供しました。評価版では、製品機能ニーズの最終的な見極め、機能の動作確認、サーバーの負荷測定、対応 IoT 機器の検討などを行いました。例えば、iPad 版の早期提供や、API 提供などについては評価版でのフィードバックを参考に決定しています。インフォテリアでは中期経営計画（2016～2018 年度）において、IoT 市場への参入と事業強化を掲げています。Platio はその製品の第一弾となり、これを皮切りに国内外で IoT に関するビジネスを拡大します。Platio は 2018 年度末までに 100 件の採用を目標としています。

また、インフォテリアでは、スマートデバイスやビッグデータ技術の更なる発展と IoT や AI 時代の本格的な到来を見据え、ヒト、モノ、情報の柔軟な共創を実現するデータ連携基盤を提案しており、IoT 関連では Platio を含め 2 つの製品リリースを計画しています。インフォテリアは、本格的な IoT 時代の到来に向け、IoT を活用したビジネス変革を支援するソフトウェア基盤を提供することで、社会システムの進化に貢献してまいります。

<Platio を含むインフォテリア製品全体の位置づけ>



<参考情報>

■ Platio サービス仕様

サービス名称	Platio (プラテリオ)
製品情報 URL	https://plat.io/
対応モバイル機器	iPhone, iPad (iOS 9.3 以上) ※Windows 10, Android も将来的に対応予定
対応言語	日本語、英語 ※中国語版も提供予定
対象国・地域	特定しない
対応 IoT デバイス	各種 Bluetooth LE 対応の計測器や IoT センサーなど。 個別名称は https://plat.io/ を参照。順次追加予定です。
IoT デバイスとの通信手順	Bluetooth Low Energy 今後、iBeacon などモバイル機器が対応する通信手順に対応予定

■「インフォテリア株式会社」について（Web サイト <https://www.infoteria.com/>）

1998年に国内初のXML 専門ソフトウェア会社として設立されたインフォテリア株式会社は、企業内の多種多様なコンピューターやデバイスの間を接続するソフトウェアやサービスを開発・販売しています。主力製品の「ASTERIA」は、異なるコンピューターシステムのデータをプログラミングなしで連携できるソフトウェアで、大企業、中堅企業を中心に5,788社（2016年9月末現在）の企業に導入されています。また、「Handbook」は、営業資料や商品カタログ、会議資料などあらゆる電子ファイルをスマートフォンやタブレットで持ち運べるサービスのスタンダードとして、1,138件（2016年9月末現在）の企業や公共機関で採用されています。

<プレスリリース 掲載 URL>

https://www.infoteria.com/jp/news/press/2017/01/31_01.php

【プレスリリースに関するお問い合わせ先（報道機関窓口）】

インフォテリア株式会社 広報・IR 室 長沼史宏

TEL:03-5718-1297 / FAX:03-5718-1261 / E-mail: press@infoteria.com

【製品に関するお問い合わせ先】

インフォテリア株式会社 ネットサービス事業本部 マーケティング部 松村宗和

TEL:03-5718-1250 / FAX:03-5718-1261 / E-mail: pm@infoteria.com

インフォテリア、Platio、ASTERIA、Handbook はインフォテリア株式会社の登録商標です。本文中の商品名は、各社の商標または登録商標です。